

No.382



2023年1月19日発行 ■発行責任者/佐藤幸雄 ■編集・制作/(株)プロトリオス ■発行/(株)NGP 東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ピル2F TEL03(5475)1200

新年のご挨拶 令和5年

"より良い商品をより正確により早く"という NGPの信条に基づき 本年も自動車整備・修理工場の皆さまの 事業活動を支援し続けて参ります

新年、明けましておめでとうございます。 年頭にあたり、新年のお慶びを申し上げま す。また旧年中は、NGP組合事業活動に 多大なるご協力を賜り、改めて感謝申し上 げます。

2022年は、2020年から続く新型コロ ナウイルス感染症の影響に加え、2月のウ クライナ侵攻及びその長期化によって、世 界的に社会不安が増大した一年となりまし た。また、新型コロナウイルス感染症によ る運送費等の高騰や日米金利差による急激 な円安などを受けた物価上昇は、整備・修 理工場における仕入れ価格にも少なくない 影響をもたらしています。さらに半導体不 足などに起因した新車不足及び納期遅延も 続いており、今後の自動車業界全体への影 響が懸念されるところでございます。

昨年は残念ながら自然災害の猛威もござ いました。NGP協同組合では、静岡県を 中心に大きな被害をもたらした台風15号 の発生を受け、2022年10月3日に対策 本部と2拠点のヤードを設置し、被災車両 の引き取りを行いました。NGP協同組合 は、今後も被災地復興支援などを通じた社 会貢献活動に取り組んで参ります。

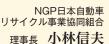
一方、自動車業界においてはEDRの装 着義務化やサイバーセキュリティー対応の 強化など、自動運転及びコネクテッド技術 の利活用を見越した法規制の整備が進めら れています。今年1月からは車検証の電子 化がスタートしており、この先も自動車整 備・鈑金塗装の現場に深く関連する法改正 が多く予定されています。

自動車技術や業界環境がいかに変化しよ うとも、整備・修理工場の皆さまにリサイ クル部品を供給し続けることが我々 NGP の最大の役割であることは、今後も変わる ことがありません。

お客さまにリサイクル部品を供給し続け るために、まずは我々自身が車両をしっか りと確保することが重要だと認識しており ます。昨今、各種社会的要因によって使用 済み自動車の発生台数が減少していますが、 仕入れをさらに強化し、車両確保に努める ことが必要不可欠だと考えています。

また、近年はSDGsやカーボンニュート ラルへ向けた取り組みを求める社会的要求 が強まっています。リユース部品の利用に よるCO。排出量削減効果に関する研究が 多くの賞を受賞するなど、NGPが継続し て取り組んできた各種活動が、いま改めて 注目を集めております。共同研究にご協力 をいただいた富山県立大学及び明治大学の 先生方、学生の皆さんをはじめとした関係 各位に感謝を申し上げるとともに、引き続 きNGPがこれまで取り組んできたことを NGP SDGsMODELとして発信し、NGP グループが持続可能な社会にとって必要不 可欠な存在となることを目指して参ります。

さらに今後は、NGPが環境貢献活動で





得た経験や研究成果を用いて、整備・修理 工場におけるSDGsの取り組みを支援する ことができるのではないかと考えておりま す。そのような思いから昨年9月より、整 備・修理工場にリサイクル部品をご利用い ただいた際に、それに伴うCO。削減量を 証明書及びデータで提供するサービスを開 始しました。NGPが推進してきたSDGsに 向けた取り組みを、今後は業界全体の環境 貢献につなげていきたいと考えています。

これからも、「より良い商品をより正確 により早く」というNGPの信条に基づき、 自動車整備・修理工場の皆さまに求められ ている品質の高い商品をいかにすばやく提 供することができるかが、非常に重要であ ると認識しております。また、昨今社会的 に関心が高まっている環境貢献活動におい ても、NGPだからこそ皆さまに提供でき るサービスがあると考えています。

リサイクル部品の供給と環境貢献活動の 支援を通じて、引き続き皆さまの事業活動 に貢献していきたいと考えております。最 後に、皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈 り申し上げ新年の挨拶とさせて頂きます。

SDGs Week EXPO 2022、開催

Topics

持続可能な社会に向けて、幅広い製品・サービスを提案

環境に関する総合展示会「エコプロ202 2」をはじめとした5つの展示会で構成される「SDGs Week EXPO2022」が12 月7~9日の3日間、東京ビッグサイト(東京都江東区)で開催されました。

会場内では、リサイクル品をはじめとし

た環境配慮製品や関連技術・サービスなど、 社会問題の解決へ向けた幅広い情報が紹介 されています。特に海洋ゴミ問題やプラス チック資源循環促進法を受けたプラスチック処理関連技術、政府が2050年までの達 成を目指しているカーボンニュートラルに つながる CO_2 排出量削減への提案が多く見られました。

3日間合計の来場者数は61,541人に上りました。



環境省

電力損失を抑制し、EVの航続距離拡大に貢献することが期待される窒化ガリウムを用いた半導体デバイスを紹介。スマートをベースとして、インバーターに窒化ガリウムデバイスを採用した実車を展示した



環境再生保全機構

同機構が推進する各種研究成果をパネル展示。東北 大学大学院はワイヤハーネスの処理において、従来 のナゲット処理で課題だった塩ビ被覆材と銅線の混 入がなく、高度にはく離する技術を報告



自動車リサイクル促進センター

自動車リサイクルの流れとともに、フロン類、エア バッグ類、シュレッダーダストの回収量やリサイク ル率を提示し、カーオーナーが負担するリサイクル 料金がどのように使用されているのかを解説した

NGP協同組合、3年ぶりにエコプロに出展

リサイクル部品の利用による CO₂ 削減効果や 資源循環に向けた NGP の取り組みを発信

NGP協同組合は、自動車リサイクル業界の取り組みや各種取り組みのPRを目的として、エコプロ2022に出展しました。

ブースでは、実際の工場見学さながらの 動画で体験学習することができるバーチャ ル工場見学コーナーやクイズを通じて、自 動車リサイクルの流れやリユース部品を利 用することによる環境貢献について、わか りやすく紹介しました。さらに来場者に使 用済み自動車の取扱説明書からアップサイ クルして制作した「環境教育ノート」と「廃 車王 炭エコクック」を配布することで、 資源の有効活用及び廃棄物削減の重要性を 訴求しています。また、被災地支援コーナ ーでは、募金にご協力いただいた方に自動 車のエンブレムをプレゼントしました。な お、集まった募金は「令和4年激甚災害義 援金」として、日本赤十字社を通じて寄付 させていただきました。

今回のブース出展にあたっては、「カー

ボンオフセット証明書」を取得しました。これは、カーボンフリーコンサルティング (株)の協力を得て、出展ブースに関わる CO_2 排出量を算定し、削減努力を行ったうえで、削減が困難な部分の排出量を他の場所で実現した排出権(J-クレジット)の 購入により相殺することで、 CO_2 削減に貢献したことを証明するものです。

NGP協同組合・総務広報委員会の渡辺辰美委員長は「本展示会は中高生の来場者が多いため、特に子どもたちに楽しみながら、自動車リサイクルの仕組みやNGPの活動を理解してもらえるように工夫しました。クイズを通じて、子どもたちに自動車リサイクル業界の取り組みや、 CO_2 削減効果を伝えることができたのではないかと思います。今後も広く社会に向けて、積極的に情報を発信していきたいと思います」と、今後も様々な方法を用いて、情報を広く発信していく姿勢を強調しています。



多くの小中学生が訪れたNGPブース



左から総務広報委員会・渡辺辰美委員長、SDGs委 員会・伊地知志郎委員長、廃車王委員会・岸本恭秀 委員長

「第5回エコプロアワード」表彰式に出席

NGP協同組合、「第5回エコプロアワード」で 経済産業大臣賞を受賞

エコプロ会場内に設置された特設ステージで12月8日に、「第5回エコプロアワード」の表彰式が開催されました。

NGPは「自動車リユース部品でカーボンニュートラルに貢献~CO₂削減効果の定量化と研究成果を活用した普及・啓発」のテーマで、同アワードの経済産業大臣賞を受賞しています。当日は、小林信夫理事長の代理として出席した鈴木成幸専務理事が、里見隆治経済産業大臣政務官より表彰状を受け取りました。

里見経済産業大臣政務官はNGPの活動

について「この研究を通して、自動車部品を生産するときに発生する CO_2 だけではなく、部品を作るための資源採掘から原料生産、使用するまでの網羅的なライフサイクルアセスメントを実施し、リユース部品使用による環境貢献度合いを見える化することが可能となりました」と、その実績を高く評価しました。

鈴木専務理事は「この度受賞した研究は、 自動車リサイクル部品が環境に優しい具体 的な根拠を示すために、富山県立大学と明 治大学との産学共同で進めてきたものです。



鈴木成幸専務理事(写真左)と里見隆治経済産業大 臣政務官

このような賞をいただくことができたのは、 大学の先生方や現役生及び卒業生の学生の 皆さんのお力によるものと、改めて深く感 謝を申し上げます」と、ともに研究に取り 組んできた関係者に感謝を述べた上で、今 後もリユース部品の利用促進を通じて、 SDGsに向けた取り組みを強化していく決 意を示しています。

自動車リサイクル部品の利用による環境負荷低減効果に関する研究が評価される

NGP協同組合、2022年度持続可能な 社会づくり活動表彰で資源循環活動賞を受賞

NGP協同組合は、環境生活文化機構(小林正明会長)が主催する「2022年度持続可能な社会づくり活動表彰」において、資源循環活動賞を受賞しました。

同表彰は、地域社会・国際社会への貢献、 資源循環、環境教育及び生物多様性保全な どに向けた取り組みの中で特に優れた活動 を顕彰するとともに広く発信し、持続可能 な社会づくりの推進につなげることを目的 としたものです。NGPが富山県立大学及 び明治大学と産学共同で自動車リサイクル 部品による環境負荷低減効果の研究に取り組み、自動車リサイクル部品を活用した場合の CO_2 削減効果を数値として算出したこと、その研究成果を専用Webサイトなどで公開し、利活用を促進していることなどが評価されました。

11月28日にKKRホテル東京(東京都千代田区)で開催された表彰式に出席したNGPの谷洋紀事務局長は、受賞した活動を開始した目的と経緯、自動車リサイクル事業の概要やリサイクル部品の利用による



NGP日本自動車リサイクル事業協同組合・谷洋紀事務 局長(写真左)と環境生活文化機構・小林正明会長

CO₂排出量削減効果などについて説明するとともに、引き続き各種活動を通じて自動車リサイクル部品の利用促進に努めていく姿勢を示しています。

「NGP年末大感謝キャンペーン」当選者決定!

NGPが2022年9月1日~11月30日の3ヵ月間開催した「NGP年末大感謝キャンペーン」への応募総数は24,248通に上りました。全国からたくさんのご応募をいただき、誠にありがとうございました。

皆様からお送りいただいた応募の中から、 小林信夫理事長が厳正な抽選を行い、当選



小林信夫理事長 (写真左)と佐藤 幸雄会長が厳正 な抽選を行い、 当選者を決定し ました 者が決定いたしました。なお、抽選の結果 につきましては、賞品の発送をもってかえ させていただきます。 NGPは今後も、お客様によろこんでいただけるように各種企画を展開して参ります。

NGP 今月のCO₂削減量



リユース部品利用に伴う CO2 削減量

^{令和4年11月:} **2,101**t

※自動車リサイクル部品産学共同研究会が、「自動車リサイクル部品による環境負荷低減効果の研究」の結果をもとに、NGPが販売したリュース部品の90品目(左右ある部品を含むと115月)を対象に賃出した数値です。



リターナブル梱包材利用に伴うCO2削減量

令和4年11月:

1.0t

※リターナブル梱包材の利用に伴う削減効果はNGP協同組合独自のCO。排出量削減の取り組みです。段ボールに代えて、専用梱包材を繰り返し使用することを前提に削減効果を算出しております。

NGP組合員 かわら版

社員がやりがいを持っていきいきと働ける会社を目指して

(株)NGP、健康経営優良法人制度の 認定取得を目指して取り組みを開始

健康企業宣言 STEP1 「宣言の証」



(株)NGPは、全国健康保険協会(協会けんぽ)東京支部が実施する健康宣言事業「健康企業宣言」STEP1に参加して、健康経営優良法人制度の認定取得に向けた取り組みを開始し、このほど協会けんぽ東京支部より「健康企業宣言」STEP1「宣言の証」の交付を受けました。

健康経営とは、従業員の健康管理をコストではなく戦略的な経営投資として捉える考え方のことで、生産性の向上や業績の向上、従業員の満足度向上などの効

果が期待されます。(株)NGPでは、社員がやりがいを持っていきいきと働き、「働きやすさ」や「働きがい」を高めるためにはまず健康であることが重要であり、そのことが社員やその家族の幸せ、そして企業の成長につながると考え、「健康経営」に取り組んでいます。

2022年9月から取り組みを開始し、中堅・若手社員による「健康経営プロジェクト」を立ち上げて、制度への理解や現状把握などを進めてきました。その取

り組みの中で全社員に対してアンケート 調査を実施した結果、定期的な運動習慣 のある人やバランスの良い食事を毎日取 れている人の割合が低いことが判明しま した。今後は、協会けんぽや専門家のサポートを受けながら、「食」と「運動」 をはじめとした健康促進に向けて取り組 み、「健康企業宣言」STEP1「銀の認定」 の取得、さらには健康経営優良法人制度 の認定取得を目指していきます。

NGP、交通遺児育英会に寄付金を贈呈

NGP協同組合は、交通遺児育英会(石 橋健一理事長)に寄付金を贈呈しました。

NGPは、リュース部品に品質保証の証としてギャランティーシールを貼付するとともに、同部品の販売で得た売り上げの一部を寄付しております。これは、使用済み自動車を取り扱う事業者として、交通事故で親を亡くした遺児らの教育や生活を支援したいとの思いから、1991

年から毎年続けてきた活動です。

コロナ禍ということもあり、小林信夫 理事長の代理として谷洋紀事務局長が交 通遺児育英会を訪問し、土肥寿員専務理 事に目録を手渡すとともに感謝状を受け 取りました。土肥専務理事からは「毎年 ご支援頂いていることに感謝しています。 コロナ禍になった令和2年から毎年、奨 学生に対して一時金を給付できているの



交通遺児育英会・土肥寿員専務理事(写真左) とNGP・谷洋紀事務局長

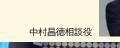
は、このような寄付のおかげです」と、 感謝の言葉をいただきました。

中村昌徳相談役、クレストパーツのNGP代表者を勇退

1987年(昭和62年)のNGP入会よりNGP代表者としてNGPグループの組織活動に尽力した中四国支部・クレストパーツ代表取締役中村昌徳氏が、2022年8月末をもってNGP代表者を勇退しました。これに伴い、中四国支部組合員を中心とした熱き仲間たちで慰労会を開催しました。なお、NGP代表者の後任

は、クレストパーツ専務取締役の中村悠 三氏が務めます。

中村昌徳氏はNGPグループ入会後、 組織拡大に尽力、支部理事、副理事長を 長らく務めてきました。今後もNGP協 同組合相談役、(株)NGP取締役として引 き続きNGPグループの発展に向けた活 動をしてもらう予定です。





慰労会の様子

組合員情報変更

支部	会社名	変更内容	変更後	変更日
九州	株式会社アール・トーヨー	移転	〒851-3101 長崎県長崎市西海町3052-1	2022年12月23日

NGP日本自動車リサイクル事業協同組合事務局

〒108-0074 東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ビル2F TEL:03-5475-1208 FAX:03-5475-1209 https://www.ngp.gr.jp/

株式会社NGP

〒108-0074 東京都港区高輪3丁目25番33号 長田ビル2F TEL:03-5475-1200 FAX:03-5475-1201 https://www.ngp.co.jp/











FSC®森林認証紙、ノン VOC インキ (石油系溶剤 0%) など印刷資材と製造工程が環境に配慮されたグリーンブリンティング認定工場にて、再生可能エネルギー 100%で印刷。印刷会社が所有する施設や車両、購入した電力などエネルギーの製造時に排出される CO_2 全量をカーボンオフセット(相殺)した「 CO_2 ゼロ印刷」で印刷しています。